

■エコプロ 2月の話題

2015年2/11(祝) 1400~1600 in百年塾サロン

常連シニア6人(男4女2) 当日欠席の女子学生からはメール

「同年代で地域活動に取り組む人とのつながりを持ちたい。東洋大学の人の活動は詳しく知りたいし、協力したい」と。

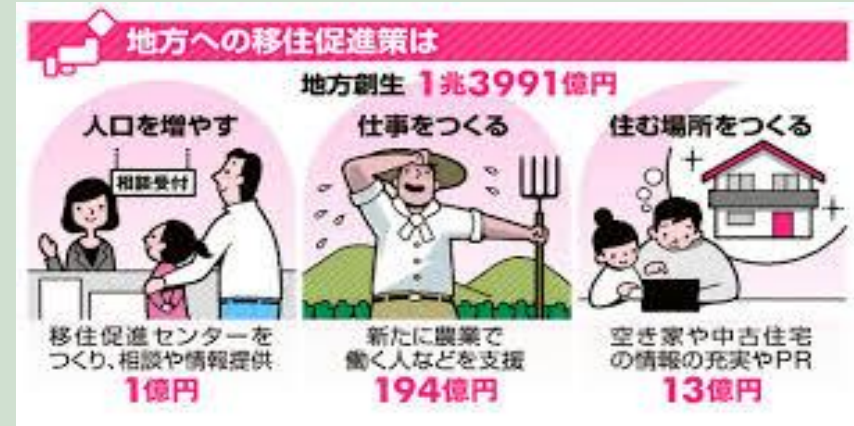
テーマ1 ● **おんなの幸せ** (博報堂+慶大前野教授の調査)

20~30代女性と出生数が激減し、雇用を求め首都圏への流出が進んでいる「消滅危機自治体」。対策のカギは、その地域の「おんなの幸せ」だと。

- ・女性の幸せ度が高い地域ほど、出生率も高い
- ・未婚よりも既婚、3人までは子供が多い方が幸せ
- ・地域のネットと共生し、自営できている女性が最も幸せ

参考までに、「しあわせ」の指標は以下の5つ、

- (1)『ほっとする』(安全と安心)
- (2)『あなたらしく』(独立とマイペース)
- (3)『なんとかなる』(前向きと楽観)
- (4)『ありがとう』(つながりと感謝)
- (5)『やってみよう』(自己実現と成長)



若い女性が少ない⇒最大の危機。仕事づくりにどんな支援？
若い女性はいるけど結婚しない⇒婚活支援
結婚しても子供が少ない⇒子育て支援

北海道浦河市
ベテルの家の
カフェぶらぶら

テーマ2 ● **スローマネー** (幸せ経済社会研究所)

「それは土と共に始まる」「事業者は種」「投資家は水」
これがこの運動のヴィジョン。

- ・事業者は種: 小規模な食料事業者は、コミュニティの仲間。地域の食料の仕組みをしっかりとさせ、仕事を作ります。
- ・投資家は水: 大勢の人々が、わずかなお金を出し合って、息の長い産業を作り出します。

「ファームなか里」や「さくらカフェ」へ
どんな支援ができるでしょうか？

